

2013年5月28日
株式会社東陽テクニカ

分散開発チームとアジャイル開発プロジェクトを強力に支援する

PERFORCE 2013.1(英語版)をリリース

*PERFORCE の最新のリリース版は、“レプリケーションフィルタ”と
“迅速なリリースサイクルをサポートするためのタスクストリーム”を新たに搭載しました*

アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アラメダ発 (2013年5月22日) - Perforce Software 社は、同社が販売している [ソフトウェア構成管理システム](#) (PERFORCE 2013.1) の有効性に関する発表を行いました。同システムでは、“世界中に分散している開発チームを支援するための機能”と“スケーラブルなアジャイル開発をサポートするための機能”が強化されています。

Perforce Software 社が提供する企業向けのソフトウェア構成管理製品は、世界でも最も厳しい要求が課せられている多くの開発環境で採用されています。具体的には、新興企業からフォーチュン 500 にランキングされている企業に至るまでの 5500 社を超える企業における 40 万人以上のユーザによって、ソフトウェア、ファームウェア、ドキュメント、ネットワークなどの、様々なデジタルアセットのバージョン管理を行うために利用されています。

Perforce Software 社の CEO である Christopher Seiwald は、以下のように述べています。「開発チームの分散化とリリースサイクルの短縮化がさらに進む中で、我々のお客様は、ソフトウェア構成管理システムによる今まで以上のサポートを必要としています。このような理由から、PERFORCE 2013.1 では、非常に重要な意味を持つ2つの領域、“より優れた柔軟性をもつワークフローを実現するための開発者別コードラインを用いたタスク管理”と“分散開発チームをサポートするための高度なレプリケーション”に焦点を当てて開発を行いました。これらを含む様々な改良によって、我々はお客様に対して、ソフトウェア開発工程の“さらなる迅速化”、“さらなる自動化”、“高い一貫性と高い品質を兼ね備えた繰り返し開発の実現”といった改善活動のサポートを行えるものと確信しています。」

- **分散開発チームをサポートする高度なレプリケーション技術** - 様々な地域で分散開発をしているチームは、PERFORCE 2013.1 の高度なレプリケーション機能を用いることで、それぞれの拠点向けにレプリケートされたデータを、厳密かつ容易に管理できるようになります。その結果として、すべてのチームが、必要な時に必要なデータへ素早くアクセスできるようになるでしょう。

また、PERFORCE のレプリケーション機能は高性能なビルド、テストおよびリリース環境に対応しており、それぞれの企業において、継続的デリバリーという目標の達成をサポートします。

- **進行中のタスクの柔軟な管理を実現するタスクストリーム** - ストリームを利用している PERFORCE ユーザと従来型のブランチを使用している PERFORCE ユーザの両方が、バグの修正用または新機能の開発用のタスクストリームを容易に作成することができます。また、タスクが完了した際にタスクストリームをアーカイブ化して、ストリームグラフを整理することもできます。
- **軽量タスクとコードレビューシステムを実現する保留機能** - タスクストリームと併せて保留機能を使用することで、“開発”、“レビュー”、および“保留された変更の迅速な承認”を柔軟な手段で実施できます。保留されたファイルは、直接サブミット(コミット)することができるほか、保留を解除したうえで別のブランチへ移動することができます。

本リリースでは、様々な管理機能の改良も行われています。これにより、IPv6 のサポート機能を含むサイト全体の構成設定に加えて、コマンドの診断とプロキシの診断を用いたサイトの維持管理と構成設定に関する詳細な調整が可能になります。

Perforce Software 社は 10 年以上にわたり、世界最高水準の技術レベルが要求される何千もの開発環境において、コードベースを維持管理するためのソリューションを提供してきました。Perforce Software 社の製品は、ソースコードの管理のみならず、様々なデジタルアセット（ドキュメント、マルチメディア、スプレッドシート、画像など）を開発チーム内で共有するための手段を提供します。

[Perforce Software 社について](#)

Perforce Software 社は、その高い技術力が評価され、セールスフォース・ドットコム、ナショナルインスツルメンツ、ニューヨーク証券取引所など、業界を牽引するトップ企業から厚い信頼を集めています。Perforce Software 社の製品は、様々なデジタルアセット（ソフトウェアコード、ドキュメント、マルチメディア、スプレッドシート、画像など）を、チーム内で効率的かつ安全に共有する手段を提供するほか、独自の技術によって大規模なコンテンツや分散して格納されている一連のコンテンツを管理し、生産性および安全性の向上、コストの削減、各種標準規格への準拠を実現します。さらに、ドキュメントコラボレーションツール“Commons”が追加されたことで、強力なバージョン管理機能を簡単にご利用頂けるようになりました。

Perforce Software 社は、アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アラメダに本社を、また、英国、カナダおよびオーストラリアに事業所を持ち、世界中でビジネスを展開しています。より詳しい情報については、www.perforce.com をご覧ください。

###

お問い合わせ先

Perforce Software 社広報担当

Joshua Heath +1-801-461-9794

joshua@methodcommunications.com

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

Tel : 03-3245-1248 E-mail : ss_sales@toyo.co.jp